

群馬県の観光情報8月号

令和6年(2024)年8月20日
群馬県東京事務所 政策調整第二係

今月の外来発表

No.	情報提供元	内 容
1	太田市おおたPR戦略課	<u>【市政20周年】目玉事業のご案内+α</u>
2	千代田町総合政策課	<u>特別拝観デー(光恩寺・宝林寺)開催します!</u>

今月の注目情報

No.	情報提供元	内 容	資料
1	前橋文学館(前橋市)	<u>朔太郎音楽祭2024「青山忠マンドリンアンサンブル」</u>	P.1
2	前橋文学館(前橋市)	<u>リーディングシアター「イエスタデイ」「平和」をテーマにしたリーディング(朗読劇)を開催</u>	P.1
3	群馬県立日本絹の里(高崎市)	<u>企画展「首里織展～ぐんまの生糸が紡ぐ物語～」</u>	P.2
4	竹久夢二伊香保記念館(渋川市)	<u>第29回 夢二代表作『黒船屋』肉筆特別公開</u>	P.2
5	玉原東急リゾート(沼田市)	<u>たんばらコキアガーデン 1万本のコキアが一面に広がる絶景スポット</u>	P.3
6	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館(富岡市)	<u>企画展「Fukuzawa Re:birth 福沢一郎×平川恒太・ユアサエボシ・江上越」</u>	P.3
7	群馬県立歴史博物館(高崎市)	<u>第111回企画展 弥生人は二度死ぬ ― 再葬墓ってなに? ―</u>	P.4
8	原美術館ARC(渋川市)	<u>展覧会「心のまんなかでアートをあじわってみる」</u>	P.4
9	吉岡町産業観光課	<u>吉岡町小倉ぶどう郷</u>	P.5
10	群馬県立土屋文明記念文学館(高崎市)	<u>ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ</u>	P.5

今月の同封資料

No.	情報提供元	内 容
1	千代田町総合政策課	特別拝観デー(光恩寺・宝林寺)
2	前橋文学館(前橋市)	マンドリンのまち前橋 朔太郎音楽祭2024「青山忠マンドリンアンサンブル 弦色浪漫in前橋」
3	前橋文学館(前橋市)	リーディングシアター「イエスタデイ」
4	群馬県立日本絹の里 (高崎市)	企画展「首里織展～ぐんまの生糸が紡ぐ物語～」
5	竹久夢二伊香保記念館 (渋川市)	「黒船屋」特別公開情報
6	竹久夢二伊香保記念館 (渋川市)	年間スケジュールチラシ
7	富岡市立美術博物館・福沢 一郎記念美術館(富岡市)	Fukuzawa Re:birth 福沢一郎×平川恒太・ユアサエボシ・江上越
8	群馬県立歴史博物館(高崎 市)	第111回企画展「弥生人は二度死ぬ ― 再埋葬ってなに? ― 」
9	原美術館ARC(渋川市)	展覧会「心のまんなかでアートをあじわってみる」開催
10	特定非営利活動法人 キングオブパスタ	キングオブパスタ2024
11	前橋市文化国際課	展覧会「リキッドスケープ 東南アジアの今を見る」

情報のお問合せ、ファイルや画像のご請求はこちらへどうぞ

群馬県東京事務所 政策調整第二係

E-mail : g-info@pref.gunma.lg.jp

電話 : 03-5212-9106 FAX : 03-5212-9103

所在地 : 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3 都道府県会館8階 群馬県東京事務所
(東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線 永田町駅から徒歩約1分)

朔太郎音楽祭2024「青山忠マンドリンアンサンブル」 【前橋市】

マンドリンのまち前橋で、朔太郎音楽祭を開催

萩原朔太郎が愛した楽器・マンドリンを前橋の文化として定着させ、音楽教育の向上に貢献するため、例年10月に開催する「マンドリンのまち前橋 朔太郎音楽祭」のプレコンサートです。

「弦色浪漫」と題し、マンドリン演奏の第一人者で朔太郎音楽祭の監督を務める青山忠氏（第1マンドリン）のほか、小野朋子氏（第2マンドリン）や青山涼氏（マンドラ）、谷川英勢氏（ギター）が流麗な音色を奏でます。NHK交響楽団や読売日本交響楽団など日本の主要オーケストラと多数共演する青山氏は、映画「クローズド・ノート」「風立ちぬ」やNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲2」などの劇中にて演奏。精力的に音楽活動を展開する側ら、全日本マンドリン合奏コンクール審査員やマンドリン合奏団の指導を務めるなど、後進の育成にも力を注いでいます。当日は朔太郎の詩にまつわる新曲をはじめ、「硝子の少年」「愛は勝つ」など多彩な曲を披露します。多くの方のご来館、心よりお待ちしております。

日時	令和6年9月7日(土)午後2時
場所	萩原朔太郎記念 水と緑と詩のまち 前橋文学館 3階
交通	○関越自動車道前橋I.Cから車で15分 ○JR前橋駅から徒歩15分
担当	主任 石川 景糸



チラシ

前橋文学館リーディングシアター「イエスタデイ」 【前橋市】

「平和」をテーマにしたリーディング（朗読劇）を開催

前橋文学館では、「平和」をテーマにしたリーディングシアター（朗読劇）「イエスタデイ」を上演します。萩原朔美特別館長が前橋文学館の館長に就任した2016年から上演している演目で、「文学を言葉や音楽に乗せて展示」する試みとなっています。

「イエスタデイ」は劇作家の清水邦夫さん（1936～2021年）の作品。戦時中に東京から日本海沿いの街に疎開した4人きょうだいが、地元の人と交流や衝突をしながら生活し、その後、たどり着いた長崎で原爆によって亡くなるまでを描いています。

今公演では、萩原特別館長など7人が出演し、演劇ユニット「演劇／微熱少年」を主宰する劇作家・演出家の加藤真史氏が演出、音楽音響を担当。平和への願いを込めた本作に、新たな風を吹き込みます。今夏、役者による朗読と音響と照明を融合した朗読劇を通して、反戦へのメッセージを感じてください。

日時	令和6年9月21日(土)午後2時
場所	萩原朔太郎記念 水と緑と詩のまち 前橋文学館 3階
交通	○関越自動車道前橋I.Cから車で15分 ○JR前橋駅から徒歩15分
担当	館長 高坂 麻子



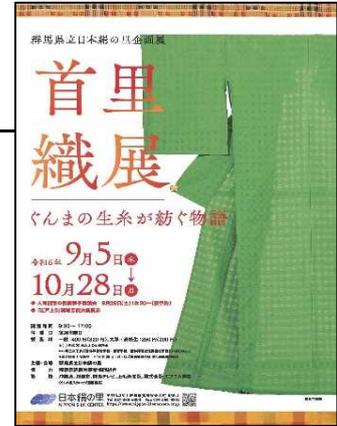
チラシ

群馬県立日本絹の里 企画展【高崎市】

企画展「首里織展～ぐんまの生糸が紡ぐ物語～」

豊かな色彩と繊細さが美しい沖縄伝統の染織物。その中でも首里織は、群馬県のオリジナル蚕品種の生糸が使われています。紋織から緋に至るまで多彩に織られる首里織の魅力と首里と群馬県の養蚕農家との繋がりをご紹介します。

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>



(チラシ表面)

日時	◆会期：令和6年9月5日（木）～10月28日（月） ◆開館時間：9時30分～17時 ◆休館日：火曜日
場所	◆群馬県立日本絹の里（群馬県高崎市金古町888-1）
交通	◆電車：上越・北陸新幹線 高崎駅からバスで約30分 ◆車：関越自動車道 前橋ICから約20分
担当	◆群馬県立日本絹の里（担当：西田）Tel.027-360-6300

竹久夢二伊香保記念館 特別公開【渋川市】

第29回 夢二代表作『黒船屋』 肉筆特別公開（要予約）

表具屋の主人・飯島勝次郎氏の依頼で描かれた『黒船屋』。黒猫を抱いた女性の姿が美しい作品です。竹久夢二の代表作である本作を、特別に設えた「蔵座敷」にて公開します。年に1度、夢二の誕生日である9月16日を中心に2週間だけの特別公開です。
※2024年は竹久夢二生誕140年記念企画として、夢二の誕生日である9月16日のみ、どなた様もご予約なしでご覧いただけます（普通券・共通券にて）。

特別イベント料金：2,200円

予約ダイヤル TEL：0279-72-4788

予約サイト <https://yumeji.or.jp/kurofuneya.html>

日時	◆会期：令和6年9月10日（火）～ 9月23日（月・祝） ◆公開時間：①11時～ ②14時～ ◆要予約
場所	〒377-0102 群馬県渋川市伊香保町伊香保544-119 竹久夢二伊香保記念館
交通	◆電車：JR渋川駅よりバスで約25分「見晴下」下車徒歩すぐ ◆JR高速バス「上州ゆめぐり号」：JR東京駅より伊香保温泉まで直通「見晴下」下車徒歩すぐ ◆車：渋川伊香保ICより約20分
担当	竹久夢二伊香保記念館 TEL. 0279-72-4788



「蔵座敷」に掛けられた『黒船屋』

たんばらコキアガーデン【沼田市】

1万本のコキアが一面に広がる絶景スポット

たんばらラベンダーパークは夏の営業終了後コキアガーデンの営業をすた。1万本のコキアと4千本のマリーゴールドが一面に広がる絶景スポットをお楽しみいただけます。園内はペットもご入園可能で、気持ちいい秋風のなかでドッグランを楽しむことができます。季節限定のスイーツが味わえる「スイーツショップ」が営業している他、オリジナルグッズや群馬県のお土産を豊富に取りそろえた「スーベニアショップ」も営業しています。

日時 8月26日（月）～10月14日（月）※予定

場所 沼田市玉原高原

交通 関越道沼田ICから約30分

担当 玉原東急リゾート 土屋稚史（電話0278-23-9311）



一面に広がるコキア

企画展「Fukuzawa Re:birth 福沢一郎×平川恒太・ユアサエボシ・江上越」【富岡市】

福沢一郎と、新進気鋭の若手作家3名のコラボレーション

富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館は、富岡市出身の画家・福沢一郎の画業を顕彰する記念美術館を併設して平成7年に開館し、令和7年に開館30周年を迎えます。これを記念して、福沢一郎と新進気鋭の若手作家3名のコラボレーション展を開催します。（助成：公益財団法人朝日新聞文化財団）

平川恒太、ユアサエボシ、江上越は、いずれも現代の絵画表現において独自の世界を切り開き、それぞれの視点から福沢の作品や活動、彼が生きた時代に関心を寄せ、自らの制作に生かしています。福沢の没後30年以上が過ぎた今、生前の彼を知らない若い世代の作家たちは、福沢の遺した仕事の中に何をみているのでしょうか。

本展では3つの個展形式で、それぞれの最新作を含む作品と当館所蔵の福沢作品を紹介いたします。時代を超えて響き合う絵画の世界をどうぞお楽しみください。

<https://www.city.tomioka.lg.jp/www/contents/1607578938940/index.html>

日時 8月10日（土）から10月28日（月）まで
午前9時30分から午後5時まで（入館は午後4時30分まで）

場所 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館
群馬県富岡市黒川351-1

交通 【車】富岡ICまたは下仁田ICから15分 【電車】上信電鉄上州富岡駅からタクシーまたは「愛タク」で10分

担当 富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館（TEL0274-62-6200）



ユアサエボシ《女性工員No.1》
2016年 作家蔵

群馬県立歴史博物館 第111回企画展【高崎市】

弥生人は二度死ぬ—再葬墓ってなに？—

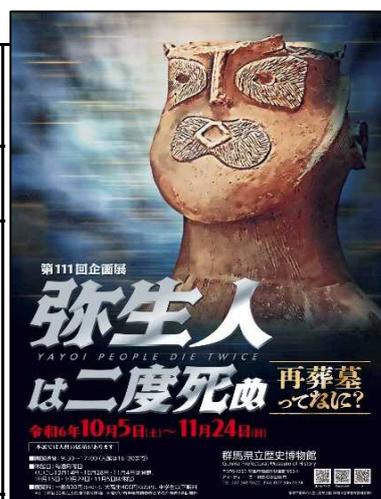
群馬県は弥生時代の再葬墓の中心地の一つです。再葬墓とは遺体を一度土中に埋めたり、さらしたりして白骨化させた人骨を土器に納め、再び埋葬することでつくられた墓のことです。現代の私たちからすると、特殊な葬法に見える再葬墓はどうしてつくられたのでしょうか。

本展では、はじめに西日本を代表する吉野ヶ里遺跡出土品と東日本の再葬墓出土品が登場します。次に、再葬墓研究のきっかけとなった岩櫃山鷹の巣岩陰（いわびつやまたかのすいわかげ）遺跡（東吾妻町）から出土した土器が里帰りし一堂に会します。

また、沖縄地方では洗骨葬（せんこつそう）というよく似た葬法が近年まで行われていました。沖縄以外で初公開となる写真と厨子甕（ずしがめ）（骨蔵器）で洗骨を紹介します。近年の研究を通じ、なぜ弥生人が二度死ぬのかを探ります。

【当館HP】<https://grekisi.pref.gunma.jp/>

日時	◆2024年10月5日（土）～2024年11月24日（日） 9時30分～17時（入館は16時30分まで）
場所	◆群馬県立歴史博物館（高崎市綿貫町992-1）
交通	◆車：上信越自動車道の「藤岡IC」より約10分。 関越自動車道「高崎玉村スマートIC」より約10分。 北関東自動車道「前橋南IC」より約15分。 アイ・ディー・エー群馬の森公園の大駐車場を利用（無料）。 ◆電車：JR高崎駅よりバスで約25分。
担当	◆学芸係 石田 典子（027-346-5522）



第111回企画展ポスター

展覧会「心のまんなかでアートをあじわってみる」 【渋川市】

召しませ！至福のアート体験。

本年度開催の「まんなか」展、第1期は「日本のまんなか」を自称する群馬県渋川市から、あるいは鑑賞者自身から「外側」へアートを発信していくような企画を開催いたしました。続く第2期にあたる本展では、作品に向かい合う人それぞれが自身の心の「内側」へと美術を引き寄せせることを提案いたします。

美術館で出合う作品は、あなたに何を語りかけてくるのでしょうか。どんな感情を抱かせるのでしょうか。現代美術は難解だと頭を悩ませるばかりではなく、自身の五感を頼りに心で感じ取りゆっくり味わってみる時間をお過ごしください。

<https://www.haramuseum.or.jp>

日時	2024年9月14日（土）－2025年1月13日（月・祝）
場所	原美術館ARC
交通	上越／吾妻線「渋川駅」よりバスにて約15分、「グリーン牧場前」下車、徒歩約7分。お車の場合、関越自動車道「渋川・伊香保I.C.」より8 km、約15分。
担当	学芸部 山川



展覧会チラシ

吉岡町小倉ぶどう郷【吉岡町】

吉岡町の夏の風物詩・小倉地区のぶどうが収穫期を迎えています！

吉岡町の小倉地区には、日当たりと水はけの良い土地を活かしたぶどう農園が集まり、「吉岡町小倉ぶどう郷（よしおかまちおぐらぶどう郷）」として、ぶどうの直売や収穫体験を行っています！

太陽をたくさん浴びた甘みの強いぶどうは、地元ではもちろんのこと、県外からも人気の、吉岡町の夏の風物詩です。

なお、各ぶどう農園により栽培している品種が異なるため、お越しの際は公式ウェブサイト又は各農園に直接ご確認の上お越してください。

【吉岡町小倉ぶどう郷公式サイト】<https://www.ogurabudougou.com>

【吉岡町観光情報サイト】

<https://www.town.yoshioka.gunma.jp/kankou/special/001425.html>

日時	2024年8月8日(木)から10月中旬まで ※各農園の栽培品種により開園期間が異なります。	
場所	吉岡町小倉地区（地区内に複数の農園が点在しています）※ 詳しくは、公式サイトをご確認ください。	
交通	車：関越自動車道駒寄SICから車で約15分	
担当	吉岡町産業観光課産業振興室（0279-54-3111）	

太陽の光をたくさん浴びた
甘みの強さが特徴です

群馬県立土屋文明記念文学館【高崎市】

ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ

『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』（偕成社）は、2013年5月から刊行された、廣嶋玲子作、jyajya 絵による児童小説シリーズです。2022年2月に発表された「小学生がえらぶ！ “こどもの本” 総選挙」で、その第一巻が第一位を獲得しました。

本展では、作者インタビューや表紙イラストなどの展示の他、多彩なディスプレイで作品の舞台を再現。銭天堂の物語世界をお楽しみいただける展示となっています。

<https://bungaku.pref.gunma.jp/>

日時	◆会期：令和6年7月6日（土）～9月30日（月） ◆開館時間：9時30分～17時（観覧受付16時30分まで） ◆休館日：火曜日*8月13日（火）は開館	
場所	〒370-3533 群馬県高崎市保渡田町2000 群馬県立土屋文明記念文学館	
交通	◆車：関越自動車道前橋ICから約15分 ◆タクシー：JR高崎駅西口から約30分	
担当	群馬県立土屋文明記念文学館 TEL 027-373-7721	